【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No.8

このメールマガジンは、NPO法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――――――――――□◇□◇□◇□◇

◆NPO法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆
「リバティ・パブ」
2018-4-1 No.8

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――――――――――□◇□◇□◇□◇

リバティ・パブとは…
自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、
情報を共有する場です。

・リバティ…Liberty(自由)
・パブ……Publication（出版）とPublic House（公共の場）、PUB（大衆酒場）を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。
著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。
リバティ・パブで一緒にこの文化を広めていきましょう。

□□ ―――――――――――――――――――――――――――――――――――― □□

こんにちは! 日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原です。

風薫る５月になりましたね。
この風にのって花粉症に悩まされていた方もそろそろ終息。
心身共に快適な季節をお迎えのことと思います。

かく言う私はというと、花粉症知らず。
重度の花粉症に悩まされている家人をよそに、
ずっと快適な毎日を送っておりました。

日本はゴールデンウィーク真最中、遊びに学びに仕事に…全力投球!

今回は盛りだくさんのメルマガになりましたので、お時間のある時に
全力でお読みください!

それでは、「リバティ・パブ」№8をお届けいたします。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆　ＣＯＮＴＥＮＴＳ　◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1. ニュース……理事会が開かれました

2. ニュース……新ＨＰのバナー広告募集総会後スタート

3. トピックス…同業3社共催イベント開催！

4. お知らせ……広島全国大会の参加申込受付中

5. お知らせ……自費出版文化賞応募の御礼

6. 自費出版事情　　…　～アドバイザー便り～№4

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

□□　―――――――――――――――――――――――――――――　□□

1.ニュース…理事会が開かれました
　　　ＨＰリニューアルの次は3年計画で新フェスティバル

□□　―――――――――――――――――――――――――――――　□□

4月14日（土）に東京小伝馬町ニッケイビルにて、
理事会が開かれました。

遠方の、札幌(林下さん)、京都(青倉さん)、彦根(岩根さん)も
駆けつけていただき、事務局、オブザーバーを入れて総勢13人の
会議になりました。

主題は総会提出議案の審議ですが、ホームページのリニューアル完成直前の
お披露目があり、その仕上がりにみなさん大変満足されました。

また、日本自費出版フェスティバルを3ヵ年計画で、その名にふさわしい
楽しく意義のあるものにしようという提案も承諾され、
総会で承認後準備に入ります。

□□　――――――――――――――――――――――――――――――――――　□□

2. ニュース…新ＨＰのバナー広告募集が総会から始まります

□□　――――――――――――――――――――――――――――――――――　□□

5月18日の総会から新しくなったＨＰのバナー広告募集が始まります。
15枠ほどの広告欄はすでに、既存分を除くと8枠ほどしか残りがありません。

自費出版に関するオウンドメディアを目指す新ＨＰは、
自費出版に関心ある人が必ず閲覧する内容を目指しますので、
今後広告効果は大いに期待できると思います。

申込の詳細は総会とメルマガでお知らせします。

□□　――――――――――――――――――――――――――――――――――　□□

3.トピックス…同業3社共催イベント「Book Cafe」開催！
　　　　　　　長野県松本市　電算印刷株式会社

□□　――――――――――――――――――――――――――――――――――　□□

去る4月13日(金)・14日(土)に、長野県東筑摩郡山形村にある商業施設にて
印刷同業者3社共催のイベント「Book Cafe」を開催しました。

発端は、昨年10月に中信印刷工業組合の理事会に「地域印刷物という少ないパイを
価格競争で取り合ったところで印刷業の発展はない。

新たな印刷物を生む方策の一つとして自費出版に目を向けてはどうか。
１社単体では大掛かりなことはできないが、団体共催であれば規模も大きく
話題性もある」と企画書を持ちこんだことです。

しかし組合側の方向性が少し逸れてしまったので、直接松本市のアサカワ印刷様、
安曇野市の第一印刷様に声を掛けてみたところ「やろうじゃないか」という事に
なったのです。
11月から「Book Cafe実行委員会」を立ち上げ全体会議を重ね、
テーマ・企画案を話し合い4月開催の運びとなりました。

当日は日本自費出版文化賞の歴代受賞作品の展示、3社で手掛けた自費出版書籍の展示、
子ども向けには塗り絵を描いてもらったものを表紙にして、
オンデマンドPP機とリング製本機でお絵かき帳を作成。
1冊の本になることに気づいて頂きました。
熟年向けには「人生グラフ」のワークショップで、見開き2ページでも自分史が
作れる面白さを紹介、
また人生を振り返る内容をテーマにトークショーも開催しました。

両日のアンケートでは、約20%の方が「いつか自費出版を考えてみたい」
と回答し、潜在需要のあることが明確になりました。
価格競争に鎬を削るライバルのはずの同業者が手を取り合うという
このイベントは、結構話題を呼び、別会社の方がこっそり覗きに来るという
場面もありました。

会場側からの要望で次回の開催も決定しています。
今後はどうやって自費出版案件を獲得して行くかが課題です。

★松本経済新聞掲載↓
https://matsumoto.keizai.biz/headline/2582/

（電算印刷株式会社　加藤 洋子さまより寄稿）

□□ ――――――――――――――――――――――――――――――― □□

4. お知らせ……広島全国大会の参加申込まだ受付しています

□□ ――――――――――――――――――――――――――――――― □□

今月5月18日（金）に広島市内のオリエンタルホテル広島で開催される、
日本自費出版ネットワークの広島全国大会の参加受付をまだ行っています。

今回の目玉セミナーは、ＨＰで全国から自費出版の受注に成功した
高知のリーブル出版さんの話。ここでしか聴けない貴重なお話です。

皆さまのご参加をお待ちしています。

●今後の予定

・5月 2日（水）会計監査

・5月18日（金）広島大会（総会、全国交流会研修、アドバイザー研修、情報交換交流
会）

新ホームページお披露目予定

□□　――　□□

5. お知らせ……自費出版文化賞応募の御礼

□□　――　□□

第21回日本自費出版文化賞の応募につきまして、500冊を目指して
締切を4月20日まで延長いたしました。

その結果4/25現在の登録済みが491点です!

最終確定件数が決まりましたらお知らせします。
皆さまご協力ありがとうございました。

来年は新ＨＰで650冊を目指しましょう。

これから審査に入っていきますので、こちらもご協力をお願いいたします。

□□　――　□□

6. 自費出版事情　…　～アドバイザー便り～№4

□□　――　□□

第1回自費出版アドバイザー　認定番号№1
交友印刷株式会社・夕月書房　麻生　芳子

「出版顛末記」
著名人のラジオ放送を聴いて『１９９通の返信』

初めて『自費出版』した。後日に誤植等あり大きな気づきと反省。
出版してから推敲・校正したのも尋常ではない。
「急いで出版したから･･･」は理由にならない。

お客様には、「良～く何回でも、推敲・確り校正して下さいよ。
気の済むまで。体力・知力・大金を注ぎ込むんだから」と。
そして最後は私が確認する工程順序。

自著となると、こうもいい加減になるものか。
「二度と見たく・読みたくもない」と暢気、甘さ百点満点。

これからは自費出版される方々に、自分の失敗から学んだ
具体的な体験を活かしながら「良い本作り」に専念するしかない。
「今一度確認を」と呪文のように言うしかない、恥を忍んで言うしかない。
資料なども引っ張り出して、顧客の気の済むように当たり前の事を
粛々と進めながら、目線を同じく、ここで失敗作を参考書にするのも悪くない。

済んだ事は忘れ同じ繰り返しを戒め、二度と失敗は許されない。

「失敗は成功の元」こそ肝要である。

****

★あとがき

少々長いメルマガでしたが、全力でお読みになりましたか?

トピックスの電算印刷はじめ3社共同のイベントは頼もしい
お話でしたね。
印刷物というモノから出版というコトに変えること、
じり貧の業界を盛り上げていくひとつの方法だと感じました。

そして、「自費出版事情」はなんと認定番号№1の麻生さまより
寄稿いただきました。自著の「自費出版あるある」みたいで
微笑ましいお話を頂戴できました。

寄稿のご協力、心より感謝いたします!

それでは、目前にせまった広島大会で、皆様にお会いできること、
とても楽しみにしています!

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp　まで、お願いいたします。